

SHIMANTO | 5

四万十町通信 2025.VOL.230

MAY



特集

部活動の新しい

カタチ

窪川中
鬼頭



窪川中学校

子どもたちの選択肢が広がる
「地域移行」のカタチ。



地域移行の先駆け「水泳部」

町内3つの中学校で最も生徒数の多い窪川中学校には、12の部活動があります。その中でも、卓球部と剣道部では、教育委員会に登録された「部活動外部指導員」が、放課後や休日に子どもたちの部活指導を行っています。

また町内で唯一、部活動が地域へ移行されたのが「窪川中学校水泳部」です。昨年度、B & G 海洋センターを運営する「くぼかわスポーツクラブ」へ、部の運営の全てが移行され、地域クラブとして日本中学校体育連盟（中体連）に申請し活動しています。水泳部だった生徒は、同クラブに登録している「窪川スイミングクラブ」の所属へ。練習では窪川B & G 海洋センターの屋内温水プールを利用し、スイミングクラブのプロ指導者の下、小学生から高校生までが一貫した専門的指導を受けられる環境となっています。



くぼかわスポーツクラブ
ひろこ 竹内 浩子 さん



剣道部 大塚 隼 さん

水泳を安心して続けられる環境ができた

中学校、高校へ進学する際、その学校に水泳部がなく、競技をやめてしまう生徒がいます。地域クラブになったことで、ずっと水泳が続けられる環境が整ったことがうれしいです。地域クラブの場合、もし他に陸上をしたい子なら陸上部に入部することも可能なんです。子どもたちにとっては、選択肢が増えて素晴らしいことなんですけど、指導者にとっては、一つの競技に専念してもらいたいという思いもあり複雑ですけどね。

経験者に練習を見てもらえてありがたい

小学2年生の時に剣道を始め、ずっと地域の指導者に教わってきました。中学校に進学する時も、剣道部にはちゃんと指導者がいることを事前に聞いていたので不安はありませんでした。逆に稽古の厳しさへの不安の方があったり…。でも地域の剣道経験者の方に、練習を見てもらえる環境はありがたいです。

基本稽古の時、自分の姿勢や打ち方を見て、一本取れる打ち方などを教えてくれるのでありがたいです。

特集

部活動の新しいカタチ

学校から地域へ、広がる可能性



部員の減少、教員の負担増…。中学校の部活動が直面するさまざまな課題。
「地域移行」という新たな動きは、部活動外部指導員の登用や地域クラブ活動、他校との連合活動など、学校の枠を超え、地域で子どもたちをサポートする新しいカタチを生みだしています。
この変化は、子どもたちにどんな可能性をもたらしているのでしょうか。

変わり始めた部活動

今から約30年前、窪川中学校の放課後のグラウンドには、野球部、ソフトボール部、サッカー部に陸上部、複数の運動部が仲間と共に汗を流す姿がありました。そして、音楽室から聞こえる吹奏楽部のメロディ。

しかし今、中学校の部活動の事情が大きく変わろうとしています。少子化が進む中で部員数は減少し、各学校単独での大会出場が難しい部活動も増え、連合チームや休部といった状況もあります。また教員の働き方改革という時代の流れもあり、学校や教員だけでは部活動の維持が困難な状況になっています。

令和4年12月、スポーツ庁と文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定。令和5年度より公立中学校においては、学校の教員が担ってきた部活動の指導を、地域の団体や個人が指導できる体制へと、地域へ「移行」させる取り組みが全国的に始まっています。

地域に根差した新たな部活動のカタチ

四万十町でも令和5年度から「四万十町部活動推進委員会」で、学校関係者やスポーツクラブなどが集まり、部活動の地域連携、地域移行を含めた新たな運営方法を協議しています。

地域の実情や競技の専門性も異なるため、全ての部活動をすぐに地域へ移行できるわけではありません。子どもたちの選択肢を狭めてしまわないよう、学校と地域が連携し、地域の人材や資源を有効に活用した新たな部活動の運営体制が、それぞれの学校で見え始めています。



十和中学校

部員不足を救う
「連合」というカタチ。



他校の球児と白球を追う「野球部」
今年度から校名を変更し、新たなスタートを切った十和中学校。部活動は野球部、バレーボール部、陸上部の3つの運動部です。
全校生徒の約9割に当たる生徒がいずれかの部に所属し、掲げた目標に向かって、日々仲間と共に汗を流しています。
しかし、少子化による部員不足は深刻で、伝統ある「野球部」も近年、単独ではチームが組めない状況となっており、近隣中学校との連合による活動が続いています。
昨半夏、3年生が引退し、部員が7名となった野球部は、久礼中学校と連合を組み、週1回の合同練習でコミュニケーションを図りながら、この夏の選手権大会に向け白球を追っています。



顧問 川上 悠磨 さん



主将 武内 颯汰 さん

連合により芽生える競争意識とチームワーク

他校と連合を組むことで、生徒たちの交流の場が広がり、競争意識も芽生え、一人一人がレギュラーを目指してやる気になっています。

もちろん、単独での活動ではないので苦労する面もあります。特に、合同練習の会場までの送迎は、保護者の大きな負担にもなっています。お互いの学校行事の日程も異なるので、練習試合などの日程調整も大変です。

一緒に野球ができて、試合に出られるのがうれしい

久礼中の生徒と一緒に野球ができるのが楽しいし、何より試合に出られるのがうれしい。でもコミュニケーションをとるのは難しいです。連合を組んだ当初は、知らない生徒ばかりでやりにくくて、内野手の連携プレーなどがうまくいかなかったことも。

合同練習を重ね、徐々にチームワークも良くなり、今ではエラーした久礼中の生徒にも「あれは捕れるやろ」って平気で言えるようになりました。

「新たなカタチ」を指導者と生徒はどう見る!?

大正中学校

地域の特性や人材を活かした
「地域連携」のカタチ。



学校の特色と地域の強みの連携

ソフトボールが盛んな四万十町。大正中学校ソフトボール部も、過去に全国制覇の功績を残す強豪校です。
しかし近年、少子化による部員不足で単独ではチームが組めず、現在は窪川中学校と連合チームを組み活動しています。お互いの生徒たちは、小学生の頃から大会などで頻繁に顔を合わせていた間柄。この地域性が「連合」となった時に相乗効果を生み、昨半夏の全国大会では準優勝を果たしています。
また、ジャズ演奏が特色の音楽部は、地域のサックス奏者が外部指導員として、子どもたちにサックスの指導を行っている。
ソフトボールが根付いている地域の強み、ジャズという学校の特色、それらを地域とうまく連携させた部活動の運営が行われています。

専門性の高い指導が求められるから助かります

楽器の種類によって特徴が違うので、専門性が高い指導が求められます。私はトランペットが専門なので、外部指導員の方にサックスを指導してもらえて、本当に助かっています。生徒たちの努力もありますが、指導員のおかげで音楽部の技術も安定してきています。技術指導だけでなく、放課後の会議などで練習に顔を出せない時に、練習を見てもらえることも大変助かっています。



顧問 木下 麻里 さん



副主将 木村 風翔 さん

この連合チームで絶対に日本一になる

窪川中学校との連合チームの方が、全然楽しいです。小学校の時からみんなソフトボールをしていて、よく大会でも会っていたし、その時はチームも違うから何度も対戦したりして。だから、どんな選手かはだいたい最初から分かっていました。そんな仲間と同じチームで活動できるのがうれしいです。

今年の夏、絶対にこの連合チームで日本一になります。





それぞれの功績を称え、受賞者全員で記念撮影

【受賞者一覧（敬称略）】※受賞理由一部省略、所属は受賞当時です

個人

足達 陽菜（窪川中3年生）
第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 高知県選抜
田邊 萌々花（大正中3年生）
第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 高知県選抜

伊賀 三由紀（四万十町河内）
第68回全日本ボディビルディング選手権大会 ウィメンズ
ボディシェイプ部門 優勝

八木 歩澄（窪川小6年生）
第40回高知県小学生陸上競技大会 女子走幅跳 第1位
本山 愛結（田野々小6年生）
2024年度高知県小学校陸上競技年間ランキング 女子走高跳 第1位
森田 怜夢（四万十高2年生）
第39回ジャパンスチューデントジャズフェスティバル2024 ナイス・プレイヤー賞（ドラム）

「教育委員会表彰」授与式

四万十町教育委員会では、町の教育・芸術・文化・技芸・スポーツなどの振興発展に貢献し、その功績が他の模範として推奨できる個人または団体について、毎年度、表彰を行っています。

令和6年度は、3月25日に四万十町役場で授与式が行われ、個人7名と団体5組が表彰されました。

功労賞 **平野 琴葉**（窪川高3年生）
第44回全国高校生読書体験記コンクール 高知県優良賞

団体

奨励賞 **FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA**（四万十高・大正中）
第39回ジャパンスチューデントジャズフェスティバル2024 優秀賞

功績賞 **窪川中学校・大正中学校ソフトボール部**
第46回全国中学校ソフトボール大会 準優勝
仁井田米コメッツ
第38回四国小学生男子ソフトボール大会 準優勝

功労賞 **仁井田小学校**
今年度で24年目を迎えたアルミ缶回収活動や、その収益を活用した町内福祉施設への介護用具の寄贈など社会事業に尽力したもの。
影野小学校5年生
令和6年度小・中学校デジタル作品コンクール 魅力発信部門 優秀賞

「少年剣道大会」開催

「第33回B&G財団会長杯四万十町少年剣道大会」が3月2日、四万十町窪川B&G海洋センターで開催されました。大会には町内外から13チーム67名が参加し、町内からは2チーム16名の剣士が参加し、熱戦が繰り広げられました。町内剣士の入賞結果は次のとおりです。

【大会結果（敬称略）】 団体戦 **準優勝** 窪川少年剣道クラブ

個人戦 小学5・6年生男子の部	第3位 高橋 成（窪川少年剣道クラブ）
準優勝 伊藤 海南人（とおわ剣道教室）	個人戦 小学5・6年生女子の部
第3位 土居 祿（窪川少年剣道クラブ）	準優勝 住吉 紗由紀（窪川少年剣道クラブ）

「子ども会新人ソフトボール大会」開催

「令和6年度四万十町子ども会新人ソフトボール大会」が3月9日、窪川運動場多目的広場で開催されました。5年生以下の選手で構成されたチームで争うこの大会には、町内外から6チームが参加。2ゾーンに分かれて予選を行い、それぞれの1位となった「仁井田米コメッツ」と「東津野・田野タスポーツ少年団」による決勝戦が行われました。決勝は、両チーム一歩も譲らない試合展開となりましたが、打力で勝る「東津野・田野タスポーツ少年団」が着実に得点を重ね、見事優勝を飾りました。



優勝を喜ぶ東津野・田野タスポーツ少年団の皆さん

本町でも「生徒がやりたい種目を選べない」「専門的な指導を受けられない」といった状況があり、部活動の地域連携、地域移行を含めた部活動改革を進めています。

そこで大きな課題となっているのが、指導者や受け皿となる団体の確保です。

町内にも各種目で専門的な技術指導が可能な地域の住民や受け皿となる団体は存在しています。ただ、そういった方々も放課後など部活動の時間帯での指導が難しいことも。また、保護者にとっては、活動場所までの移動に伴う負担が大きいなどの事情もあり、調整に時間を要しているところ です。

教育委員会では、引き続き地域の実情に応じて外部指導員の登用や指導できる人材の確保に努めています。

まずは休日の部活動から地域へ移行し、子どもたちの多様な体験機会を確保する中で、子どもたちと地域、学校が強く結びつく環境の整備を目指していきます。

多様な活動の整備から地域活性化へ



四万十町教育委員会
みつあき 山脇 光章 教育長

広がる可能性、 地域と育む子どもたちの成長

少しずつ動き始めた部活動の地域移行。部活動が地域へ移行されることは、子どもたちのスポーツ、文化芸術など多様な体験の場を確保することにもつながります。また、子どもたちは安心して競技が続けられ、競技種目を自由に選択できる可能性も広がります。地域を交えた部活動で学べることは、決して専門技術だけではありません。今回取材した地域の指導者の皆さんは、挨拶や返事、言葉遣いなど礼儀作法についても指導していました。

「この子たちが社会に出て困らないように」「周りから応援される子になってもらいたいから」。そんな地域の大人たちの想いが、部活動の指導を通して子どもたちに伝えられています。

新たな部活動のカタチは、まだ完成形ではありません。部活動を通して、地域と子どもたちとのつながりがさらに深まれば、子どもたちの成長、地域の活力へとつながっていくのではないのでしょうか。

【お問い合わせ先】 学校教育課 ☎22-2594



四万十ヒノキが使用された平屋建てのコミュニティセンター

「松葉川コミュニティセンター」完成

松葉川地域にある三堰キャンプ場（作屋）近くに、松葉川コミュニティセンターが完成しました。3月29日の落成式には、住民や町の関係者、工事業者などが参加し完成を祝いました。

松葉川地域には、これまで地域全体のコミュニティ施設がなかったことから、今後は地域コミュニティ施設として、また防災施設としてさまざまな用途での活用が期待されています。

本施設の愛称「松葉の里」は、地域の皆さまから募集し決定したもので、この愛称と共に、地域の交流の場として皆さまに親しまれていくことでしよう。



「字を丁寧に書いてもらいたい」と258セットが寄贈

児童へ「もんちゃんえんぴつ」寄贈

今年も町内の小学1・2年生に、「筆育もんちゃんのちゃんともてるさんかくえんぴつ」が寄贈されました。寄贈したのは、(株)田邊建設、四万十うなぎ(株)、宗崎幸子さんのお三方で、4月2日、町役場で贈呈式が行われました。

この「筆育もんちゃんえんぴつ」は、高知市の絵本の店コッコ・サンが考案。指をどこに置けばよいのかを意識しやすいように、「イラスト」が付けられています。今後、コッコ・サンによる「えんぴつの持ち方教室」が各学校で開催され、鉛筆を正しく持つための魔法の呪文を唱えながら、楽しく学んでいきます。



窪川小の窪添泰平校長(左)と窪川署の芝洋輔刑事生活安全課長

新1年生へ「防犯啓発用文具」寄贈

今年度、町内の小学校へ入学した新1年生71名へ、窪川警察署と四万十町地域安全協議会より「防犯啓発用文具（鉛筆・消しゴム・定規）」が寄贈されました。

この取り組みは、小学校入学を機に一人で行動する機会が増える新1年生を対象に、毎年行われているものです。寄贈した文具を日常的に使用してもらうことで、子どもたちの防犯意識を育むことを目的としています。



フィナーレは感謝の気持ちが込められた恒例のもち投げ

道の駅めぐり窪川「26周年創業祭」

「ありがとう」の気持ちを込めた「道の駅めぐり窪川開業26周年創業祭」が4月20日、道の駅めぐり窪川で開催されました。大人気の「豚まん」やみるく工房の「アイスクリーム」が当日限定価格で販売されたほか、特設会場には移動動物園も登場。家族連れを中心に昨年を上回る人出でにぎわった会場は、おいしい香りとたくさんの笑顔で包まれ、思い思いに素敵な時間を過ごしていました。

これからも地域に愛される道の駅として、感謝の気持ちを新たにしたい一日となりました。



報告会に参加した受講生と関係者の皆さん

「地域ビジネス最終報告会」開催

町では起業創業を考えている方への支援として、「地域ビジネススタートアッププログラム」という講座を実施し、3月16日に最終報告会を行いました。活動の応援者や仲間を得ることを目的に、受講生6名がそれぞれのアイデアを発表しました。

また併せて、「町営塾じゆうく。」の取り組みの一環として、高校生3名が自分の興味関心をテーマとした発表を行ったほか、立命館大学生による地域課題解決の提案発表も行われました。来場者から質疑や意見も出され、町内の活性化の取り組みを皆で考える有意義な時間となりました。



満開の桜の下でたくさんの方がお花見を楽しんだ

最後の「家地川桜まつり」開催

約300本のソメイヨシノが楽しめる四万十町の桜の名所、家地川公園で3月30日、「第30回 家地川桜まつり」が開催されました。来年以降、家地川ダム改修工事の計画があり、一部の桜が伐採・移植されることから、今年の開催をもって、ひとまず最後となるこのイベント。

地域住民によるうどんや鮎の塩焼きなどの出店のほか、ステージ上ではJAM踊りクラブの踊りや、大道芸パフォーマンスの披露も。訪れた方は四万十川に映える桜に心癒されながら、春のひとときを楽しんでいました。



受賞を喜ぶ田村梅一さん(左)と今西すずみさん

「四万十にこここ応援隊」県民表彰受賞

優れたおもてなしで魅力ある観光地づくりに貢献したとして、「四万十にこここ応援隊」が、令和6年度高知家おもてなし県民表彰を受賞しました。

令和3年9月に始めた観光列車のおもてなし活動が高く評価されたもので、当時、毎週末に窪川駅でメンバーが仮装し風船を両手に、列車と並走しながら笑顔で手を振るおもてなしが観光名物に。

3月31日に町長を表敬訪問したメンバーの田村梅一さんと今西すずみさんは「お客さんが喜んでくれることが何よりうれしかった」と、笑顔で受賞の喜びを語ってくれました。



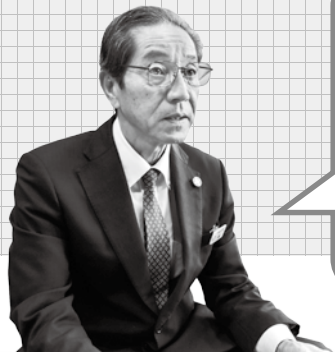
「思いやり、譲り合いの意識が大切」と話した窪川署の南和也署長

交通事故ゼロを!「春の全国交通安全運動」出発式

高齢者の事故防止などに重点的に取り組む「春の全国交通安全運動」の出発式が4月7日、窪川警察署駐車場で行われました。

出発式には、町内の保育園児や警察官、交通事故防止活動に取り組む各関係団体など約50名が参加。参加者らが交通事故ゼロを願って、青空へ一斉に風船を飛ばした後、園児たちは順番に白バイにまたがり大喜びする場面も。

また、街頭で行われたドライバーサービスでは、警察官や関係者らが笑顔で交通安全を呼びかけ、事故防止に努めました。



副町長 森武士

令和7年度人事異動の基本方針は、以下の2点です。

- ①政策課題や財政健全化への対応強化を図るため、新たに参事を配置する。
- ②公営企業会計を導入した水道事業の経営状況を明らかにし、経営の効率化・健全化を図り、水道施設の改修工事などに対応するため、上下水道班を増員する。

議会議務局	次長兼監査委員事務局次長（主幹兼書記兼監査委員事務局書記）小野川哲 主事兼書記兼監査委員事務局書記（農林水産課主事）茨木萌愛
教育委員会事務局	教育次長（企画課長）川上武史
学校教育課	〔兼〕課長 川上武史 副課長兼高校教育振興対策監兼窪川学校給食センター所長兼大正学校給食センター所長兼十和学校給食センター所長（副課長兼教育総務係長兼高校教育振興対策監）真城和也 教育総務係長（十和地域振興局地域振興課企画産業係長兼出納員）都築桂 主査（再任用更新）植村有三
生涯学習課	文化振興係長（大正地域振興局地域振興課企画産業係長）森田工 主任（にぎわい創出課主任）竹内恒陽 主事（新規採用）西内愛実
農業委員会事務局	事務局長兼西部駐在所長（町民課長）小嶋二夫 〔兼〕西部駐在所主査 槇尾拓生
選挙管理委員会事務局	〔兼〕事務局長 佐竹雅人 〔兼〕書記 富永貴愛 〔兼〕書記 松本桃子
派遣	高幡広域市町村圏事務組合（町民課副課長兼年金子ども手当係長兼見付町民館長）小松充

大正地域振興局	
地域振興課	副課長兼企画産業係長兼四万十高校振興対策監（副課長兼四万十高校振興対策監）中川貴之 総務防災係長兼出納員（主幹兼出納員）谷岡美希 主査（危機管理課主査）槇尾拓生 主査兼出納員（農林水産課主査）田井翼 主事兼出納員（農林水産課林業振興室主事）那須詩音
町民生活課	副局長兼課長（学校教育課長兼窪川学校給食センター所長兼大正学校給食センター所長兼十和学校給食センター所長）長森伸一 副課長（総括主幹兼町民生活係長兼出納員）浜田早苗 町民生活係長兼出納員（町民課戸籍住民票係長）岡崎明日香 保健師（健康福祉課保健師）片田由唯 主任兼出納員（健康福祉課主任）松井一晟
国民健康保険大正診療所	所長（医師）（大月町国民健康保険大月病院長）大窪秀直 副所長（医師）（大月町国民健康保険大月病院）谷中寛和 事務長（農業委員会事務局局長兼西部駐在所長）清藤真希
選挙管理委員会事務局	〔兼〕書記 田井翼

十和地域振興局	
地域振興課	局長兼課長（国民健康保険大正診療所事務長兼国民健康保険十和診療所事務長）吉川耕司 企画産業係長兼出納員兼現金取扱員（にぎわい創出課地産外商室主査）三浦一平
町民生活課	副局長兼課長（地域包括支援センター十和支所長兼地域包括支援センター大正支所長）池田康人 副課長兼町民生活係長（十和隣保館長兼十和児童館長）川下房代 主査兼出納員（主査）松下理恵
十和隣保館・十和児童館	隣保館長兼児童館長（国民健康保険十和診療所総括主幹）竹内由美
国民健康保険十和診療所	〔兼〕事務長 清藤真希 総括主幹（大正地域振興局地域振興課総括主幹兼出納員）中屋大樹 看護長（主任看護師）岡村恭子 理学療法士兼国民健康保険大正診療所理学療法士（理学療法士）大山雅司 技査（再任用）伊藤良子

四万十町の人事異動

〔令和7年4月1日付（ ）内は旧〕

本 庁	
参事	〔兼〕参事 池上康一
総務課	課長（農林水産課長）佐竹雅人 副課長（にぎわい創出課副課長兼地場産業推進係長兼地産外商室長）高橋亮 主査（高知県総務部市町村振興課）富永貴愛 主任（新規採用）松本桃子 財政班長（企画課企画調整係長）西尾洋亮
危機管理課	副課長兼地域安全係長（議会議務局次長兼監査委員事務局次長）正岡静江 主査（特別養護老人ホーム窪川荘主査）武市尚也 主事（新規採用）矢野萌絵
企画課	課長兼人材育成推進センター所長兼農村地域活性化複合施設所長（十和地域振興局長兼地域振興課長）富田努 企画調整係長（農林水産課農業水産振興係長）伊藤悠人 主任（一般財団法人地域活性化センター）竹村俊斗
税務課	副課長兼資産税係長（環境水道課副課長兼環境管理事務所長兼斎場所長）岡村昭典 主査兼会計管理室主査兼出納員兼現金取扱員（会計管理室主査兼出納員兼現金取扱員）笹岡素子 主査（十和地域振興局地域振興課主査兼出納員）小松結衣 主事（環境水道課上下水道班主事）橋本詩夏
町民課	課長（特別養護老人ホーム窪川荘事務長兼施設長兼特別養護老人ホーム四万十荘事務長）三宮佳子 副課長兼年金子ども手当係長兼見付町民館長（危機管理課副課長兼地域安全係長）今井千津子 総括主幹兼戸籍住民票係長（生涯学習課総括主幹兼文化振興係長）宮本美智 主事（にぎわい創出課主事）野田葵 主事（総務課主事）出間花奏
健康福祉課	副課長（副課長兼母子保健福祉係長）戸田ゆかり 母子保健福祉係長（環境水道課主幹）山下美穂 保健師（大正地域振興局町民生活課保健師）井上なつ子 保健師（新規採用）森沙織 主事（新規採用）芝健成
高齢者支援課	主査（農林水産課林業振興室主査）山脇一志
地域包括支援センター	地域包括支援センター十和支所長兼地域包括支援センター大正支所長（地域包括支援センター大正支所総括技幹兼保健師）堀本さゆり
農林水産課	課長（総務課副課長）武田正人 副課長兼農業担い手支援係長兼農地係長（副課長兼農業担い手支援係長）山本英明 副課長兼農業政策係長兼農業水産振興係長（副課長兼農業政策係長兼農地係長）東孝典 主査（総務課主査）岡正也 主査（にぎわい創出課主査）稲井智香 林業振興室主査（税務課主査）田中翔太 林業振興室主査（大正地域振興局町民生活課主査兼出納員）平野勝己 林業振興室主事（新規採用）川上将矢
にぎわい創出課	副課長兼地場産業推進係長（税務課総括主幹兼資産税係長）有田佳弘 主事（町民課主事）長尾瑠音 主任（新規採用）小原雅江 地産外商室長（地産外商室次長）友永龍二 地産外商室主査（企画課主査）下元沙耶香
建設課	副課長（副課長兼建設総務係長）吉村紀一郎 建設総務係長（建築住宅係長）桑瀬正一 建築住宅係長（技幹兼環境水道課上下水道班技幹兼水道技術管理者）下司康弘 主査（企画課主査）小沢隆一郎 主査（生涯学習課主査）森文哉 国土調査推進室主事（生涯学習課主事）八木橋利隆
環境水道課	課長兼環境管理事務所長兼斎場所長（課長）戸田太郎 副課長（大正地域振興局地域振興課総括主幹兼総務防災係長兼出納員）國澤みやこ 主事（危機管理課主事）岡村春奈 上下水道班長兼水道技術管理者（技幹）芝平 上下水道班次長（総務課財政班長）片岡文明 上下水道班主事（農林水産課林業振興室主事）武田晶大 上下水道班主事（税務課主事）沼樹
会計管理室	会計管理者兼会計管理室長（総務課長）池上康一 主任兼出納員兼現金取扱員（学校教育課主任）谷岡杏菜

本年 5月26日 改正戸籍法施行

ご存じですか？ 戸籍にフリガナが記載されます。

令和7年5月26日に、戸籍に氏名のフリガナを記載する制度が始まります。
フリガナ確認のための通知書が「本籍地の市区町村」から送付されます。
もし、誤ったフリガナが記載されていた場合は、届け出を行ってください。
届け出をしなかった場合、令和8年5月26日以降、通知書に記載されたフリガナがそのまま戸籍に記載されます。

※四万十町が本籍地の方は、7月から9月ごろに通知書が発送される予定です。

本年
5月以降

本籍地の市区町村から戸籍に記載される予定の
氏名のフリガナの通知が届きます



Point

通知されたフリガナをまず確認！

フリガナが誤っている場合 → 届け出をしてください

※マイナポータルでオンライン届け出も可能です。

フリガナが正しい場合 → 届け出は**不要**です

来年
5月以降

フリガナが戸籍に記載されます



詳しくは
法務省特設ページへ→



！詐欺にご注意ください

- フリガナの届け出に
手数料は発生しません。
- 届け出をしなくても**罰則はありません。**

お問い合わせ先

町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

四万十町の人事異動

保育所	
見付保育所	総括主幹兼主任保育士（小鳩保育所総括主幹兼主任保育士）吉川実穂 保育士（東又保育所保育士）南部星香 保育士（小鳩保育所保育士）近森春日 主事兼調理師（新規採用）西川苑 主査兼調理師（再任用短時間更新）甲把操
東又保育所	主任兼調理師（新規採用）武田奈生子 主査兼調理師（再任用短時間勤務）宮崎早苗
興津保育所	総括主幹兼主任保育士（見付保育所総括主幹兼主任保育士）市川智晶
認定こども園たのの	保育教諭（昭和保育所保育士）松下阿久里
北ノ川保育所	総括主幹兼主任保育士（興津保育所総括主幹兼主任保育士）澤村華奈 保育士（認定こども園たのの保育教諭）門脇綾
小鳩保育所	総括主幹兼主任保育士（北ノ川保育所総括主幹兼主任保育士）宮田愛 保育士（北ノ川保育所保育士）小野川恵 保育士（新規採用）田邊麻帆 主査兼調理師（再任用短時間更新）亀越栄美
昭和保育所	保育士（見付保育所保育士）三石由希

学校校務員	
東又小学校	主幹兼学校校務員（窪川小学校主幹兼学校校務員）濱口美和
窪川中学校	主幹兼学校校務員（再任用）廣田広美

特別養護老人ホーム	
窪川荘	事務長兼施設長（特別養護老人ホーム四万十荘施設長）佐竹あゆみ 主任（建設課主任）國廣智哉 看護職員兼機能訓練指導員（看護職員）福留ゆかり 看護職員（看護職員兼機能訓練指導員）竹村和也 介護職員（新規採用）三浦啓太
四万十荘	〔兼〕事務長 佐竹あゆみ 施設長（税務課副課長）武井秀樹 主査（大正地域振興局地域振興課主査兼農業委員会事務局西部駐在所主査）山陸聖弥 看護職員（看護職員兼機能訓練指導員）谷脇朝美 看護職員兼機能訓練指導員（看護職員）大崎知世 介護職員（介護支援専門員兼介護職員）川上弘樹 主査（再任用短時間更新）川村裕之

退職 R7.3.31付	
細川理香（会計管理者兼会計管理室長） 浜田章克（教育次長） 林誠（十和地域振興局町民生活課副課長兼町民生活係長） 宮崎早苗（東又保育所主幹兼調理師） 芝あゆみ（大正地域振興局町民生活課副課長） 畦地永生（十和地域振興局副局長兼町民生活課長） 林和利（大正地域振興局副局長兼町民生活課長） 田中つかさ（健康福祉課助産師） 徳橋理紗（国民健康保険大正診療所長（医師）） 岩本啓寛（国民健康保険大正診療所副所長（医師）） 伊藤良子（国民健康保険十和診療所看護長） 廣田広美（窪川中学校主幹兼学校校務員） 中村裕子（町民課主査（再任用））	



健康とお金の話



寿命が延伸する昨今、将来にかかる医療費は気になるものです。病気の中には、生活習慣を見直すことで予防できるものもあります。病気を予防し、医療費を節約する第1歩が健康診断です。

将来の医療費は減らせます

健診を受けなかったり、再検査を受けなかったりして放っておくと、気付かないうちに病気が進行して、突然大病を発症することがあります。血管が破裂したり詰まったりして心臓病や脳卒中になると、命に関わります。命を取りとめても、重い後遺症が残り、医療費も高額になります。年に1回、健診を受けて日々の生活を少し変えるだけで、大病を防ぎ、将来の医療費も減らすことができます。

健診がお得です

特定健診は基本的に無料で受けられますが、その費用は市町村や会社が負担することになっていて、受けた方はその費用分がお得ということになります。特定保健指導についても同様で、13,000～37,000円相当の指導が無料で受けられることとなります。

令和7年3月現在、四万十町の令和6年度特定健診受診率は29.3%（国保データベースシステムより令和6年度累計）、特定保健指導の受診率は50.0%（令和5年度累計）でした。お得で健康な生活を送れるよう、より多くの方に健診を受けていただきたいと思います。特定健診やがん検診に関するお問い合わせは、健康福祉課までどうぞ。

【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

通院費はけっこうかかります

医療の進歩により、入院日数が減少している現在では通院が想定より長引く可能性が高いため、通院中の支出や収入の減少も想定されます。通院には診療費や薬代、交通費などさまざまなお金がかかります。人によって金額は異なりますが、1日平均1万～1万5,000円程度の通院費（入院外医療費）がかかります。かかった病気によっては遠方の病院に通院しなければならないケースがあり、交通費が高額になるケースもあるでしょう。

金額を比較! こんなにも違います! //

Aさん	特定健診を受けて特定保健指導になったけど、毎年指導を受けて治療には至らず（20年経過した場合）		
Bさん	特定健診を毎年受けずに、病気となり通院内服治療となる（20年経過した場合）		
Aさんが得した金額		Bさんに発生した治療費	
特定健診料 8,871円×20年	177,420円	通院 15,000円×12ヵ月×20年	3,600,000円
特定保健指導 積極的支援 約37,000円×10年 動機付け支援 約13,000円×10年	500,000円 		3,600,000円
677,420円（※全額無料）			
差額：約427万円			



子育て通信

内 容	日 時		場 所	お問い合わせ
4 か月児・7 か月児健診	5月14日(水)	対象者に個別通知	窪川地域子育て支援センター	健康福祉課 ☎22-3115
ハローベビースクール	5月18日(日)	10:00～12:00		
3 歳 6 か月児健診	5月21日(水)	対象者に個別通知	四万十町役場本庁東庁舎	
赤ちゃん相談	5月20日(火)	9:30～11:30	大正地域子育て支援センター	大正町民生活課 ☎27-0112
	6月 4日(水)	10:00～12:00	窪川地域子育て支援センター	健康福祉課 ☎22-3115



健康検査・がん検診

内 容	日 時		場 所	お問い合わせ
○若者健診 ○特定健診 ○後期高齢者健診 ○結核・肺がん検診 ○大腸がん検診 ○前立腺がん検診 ○胃がん検診	5月15日(木)	8:00～ 9:30	大奈路体育館	大正町民生活課 ☎27-0112
	5月16日(金)	8:30～10:00	大正北ノ川多目的集会所	
	5月28日(水)	8:30～10:00	十和体育館	十和町民生活課 ☎28-5112
	5月29日(木)	8:00～10:30	東又地区基幹集落センター	健康福祉課 ☎22-3115
	5月30日(金)	8:00～10:00		
	5月16日(金)	13:30～14:00	打井川地域づくりセンター	大正町民生活課 ☎27-0112
○若者健診 ○特定健診 ○後期高齢者健診 ○結核・肺がん検診 ○大腸がん検診 ○前立腺がん検診 ※胃がん検診はありません	5月27日(火)	8:30～ 9:30	古城体育館	十和町民生活課 ☎28-5112
		13:00～13:30	戸川生活改善センター	
	5月28日(水)	13:30～14:00	大道体育館	健康福祉課 ☎22-3115
	5月30日(金)	14:00～15:00	志和コミュニティーセンター	

医



からだに
いいはなし

認知症になり
やすい人の特徴？

5/5



今月は認知症の予防方法を5つご紹介します。年齢を重ねても健康でいるために、ぜひ積極的に取り組んでみてください。

①生活習慣を改善する

4回にわたり認知症になりやすい人の特徴をご紹介しました。生活習慣病は認知症を引き起こす直接的な原因です。適切な「運動」「食事」「睡眠」は、生活を豊かにする大切な土台となります。

②人とのつながりを大切にする

日々の生活のなかで、友人や知人と会う機会を増やしたり地域の集まりに参加する機会を増やしてみましょう。人とのコミュニケーションは、脳に刺激を与えられる絶好のチャンスです。ご自身の悩みを打ち明けられる相手（家族・友人）ならば、ストレス解消にもつながるはずです。

③ストレスを発散する

認知症をはじめとするさまざまな病気にかかるリスクを減らすためにも、ご自身にぴったりのストレス発散方法を見つけ、苦しくなる前に気分転換することが大切です。

④健康診断を受ける

定期的に健康診断を受け、ご自身の身体の状態を知っておくことも、認知症を予防するポイントの一つです。健康に気を付けていても、認知症の原因となる病気にかかっている可能性もあるかもしれません。

⑤日々の行動をチェックする

日々の行動をチェックしておくことで、認知症の予防だけではなく、早期発見にもつながります。「以前と比べて何かが違う」と違和感を覚えたときは、一度医療機関にご相談ください。

四万十町国保大正診療所 徳橋理紗・岩本啓寛・大川剛史

災害時のための薬を備えましょう



災害時、普段飲んでいる薬はどうなるのでしょうか。

南海トラフ大地震で広い範囲に被害が出た場合には、支援物資が届くのに時間がかかることも想定されており、2週間ほどの予備の薬があると良いとされています。発災後1週間程度は診療情報が手に入らないため、普段飲んでいる薬の内容が分からずすぐに支援ができないといった状況も考えられます。薬の情報が記載された紙やお薬手帳を備えておくことが大切です。また薬は、先にもらったものから服用し、新しい薬を予備薬として非常用に備えるなど定期的な管理が必要です。処方変更時には予備薬についても考慮する必要がありますので、かかりつけの医師や薬剤師に相談しましょう。

5月の無料健康相談日

11日(日)、25日(日)です。

どうぞ、気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】
調剤薬局技術センター
薬剤師 岡島 千紗
☎22-1000

町税の納付と減免についてのお知らせ

令和7年度の軽自動車税（種別割）と固定資産税の納税通知書を発送しました。
内容をご確認いただき、納期限までの納付をお願いします。

軽自動車税の減免について

障害者手帳や療育手帳などをお持ちの方で、一定の要件を満たす場合は、軽自動車税の減免を受けることができます。なお、この減免は、普通車を含めて1人1台に限ります。

■申請に必要なもの

- 自動車検査証（車検証）
- 運転免許証
- 身体障害者手帳など
- マイナンバーが確認できるもの

■継続して減免を受ける方へ

昨年度、減免を受けられた方についても、毎年申請が必要です。申請書を送付しますので、納期限までに申請書類の提出をお願いします。

■減免申請期限（納期限） 6月2日（月）



固定資産税の減免について

災害その他特別な事情のある場合など、固定資産税の納付義務の一部または全部を減免する制度があります。

下記に該当される方は、減免申請期限までに減免申請をお願いします。

1. 生活保護・生活困窮減免

- 生活保護法の規定により生活扶助などを受ける方の所有する固定資産
- 公の扶助を受けてはいないが、貧困により納税が困難な無収入の方の所有する固定資産（実情により判断）

2. 公益減免

- 集落共有の公民館、集会所などの土地および家屋

3. 災害減免

- 火災、台風、地震などの自然災害により被害を受けた固定資産

■減免申請期限 6月2日（月）



所得証明の発行開始時期

令和7年度所得証明（令和6年中所得）は

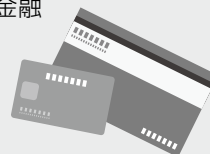
- 給与特別徴収の方は
5月13日（火）から
- 普通徴収・年金特徴の方は
6月11日（水）から
発行できます。



町税の納付には便利な 口座振替をお勧めします

口座振替にすると、納期ごとの支払いの手間や、うっかり納め忘れる心配もありません。

手続きは、四万十町指定の金融機関で行うことができます。詳細は下記までお問い合わせください。



■取扱金融機関

- 四国銀行 高知信用金庫 高知銀行
- ゆうちょ銀行 高知県農協

○休日在宅当番医

月 日	医院名	電話番号
5月18(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
5月25(日)		
6月1(日)		
6月8(日)		

❗ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。

大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。

大正 地域振興課 ☎27-0111

十和 地域振興課 ☎28-5111

○休日水道修理当番

月 日	業者名	電話番号
17(土)	宮脇水道	☎22-1581
18(日)	高橋設備	☎22-0662
5月24(土)	桑原水道	☎22-1163
25(日)	横山水道設備	☎22-3608
31(土)	岩本商店	☎22-2716
1(日)	日化住宅機器	☎22-0407
6月7(土)	宮脇水道	☎22-1581
8(日)	高橋設備	☎22-0662



○無料相談（秘密厳守です。）

人権相談

月 日	時 間	地 域	場 所	電 話 番 号
6月4(水)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 生活実習室	町民課 ☎22-3117
		大正	大正地域振興局 2階 小会議室	大正町民生活課 ☎27-0112
		十和	コミュニティセンターとおわ	十和町民生活課 ☎28-5112

1日行政相談

【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

5月13(火)	10:00~15:00	窪川	農村環境改善センター 2階 第2・3会議室	総務課 ☎22-3111
6月10(火)				

令和6年度

入札結果(令和7年3月実施分)について

入札結果は、町ホームページにて確認することができます。
また、右の二次元コードから読み込むことも可能です。



お詫びと訂正

四万十町通信4月号(2025.VOL229)の6ページに掲載した「子ども会・勤労者駅伝大会開催」の記事に、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- 誤 女子区間賞 第3区 仁井田サンダー 石本すみれ
- 正 女子区間賞 第3区 仁井田サンダー 石元すみれ



クールチョイス

脱炭素社会の実現のために、一人一人のライフスタイルの転換が重要です。

太陽光発電、蓄電池や V2H 充放電設備の設置で光熱費と CO₂削減に取り組みませんか？

町の補助制度を有効に活用しましょう。

【お問い合わせ先】 環境水道課 ☎22-3119

【お問い合わせ先】 税務課 ☎22-3116

骨髄ドナー支援事業について

お知らせ

日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了した方に対し、助成金を交付します。

●助成対象者

- ①骨髄などを提供した日において、四万十町に住民登録がある方
- ②他の法令により骨髄などの提供にかかる助成金の交付を受けていない方
- ③町税を滞納していない方
- ④所属する企業や団体にドナー休暇制度(有給)がない方

●助成内容 骨髄などの提供のための通院、入院の日数に応じて、1日2万円、1回の提供につき7日分を限度に助成

●申請期限 骨髄などの提供が完了した日の属する年度の3月31日まで

お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

みんなの涼しい休憩所！
クーリングシェルター開放中！

お知らせ

「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、熱中症の発症を予防するために次の施設をクーリングシェルターとして解放します。

●開設期間 4月23日(水)～10月22日(水)

クーリングシェルター一覧

施設名	場 所
四万十町役場本庁	西庁舎(JR 窪川駅側)1階 ふれあいホール
大正地域振興局	1階 玄関ホール
十和地域振興局	2階 和室 ※利用状況により場所変更あり

※解放時間は、全施設8:00～18:00となります。



お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

意見公募の結果の公表

お知らせ

「四万十町立特別養護老人ホーム事業経営戦略(案)」に対する意見公募の結果をお知らせします。

詳細は四万十町ホームページでご確認ください。
貴重なご意見をありがとうございました。

●募集案件 「四万十町立特別養護老人ホーム事業経営戦略(案)」

●募集期間 2月25日～3月17日

●募集結果 意見数:1件



四万十町HP

お問い合わせ先

特別養護老人ホーム窪川荘 ☎22-8811

国民年金からのお知らせ

お知らせ

国民年金保険料 納付のご案内

令和7年4月から令和8年3月分の国民年金保険料は、月額17,510円です。

日本年金機構から送付される納付書により、納付期限までに金融機関、郵便局、コンビニエンスストアまたはスマホ決済アプリで納めてください。

また、納付方法は他にもクレジットカードによる納付や、便利でお得な口座振替などもあります。

今年度の出張年金相談所開設

●日 程 6月4日(水)・12月3日(水)

●場 所 四万十町役場本庁西庁舎1階
(JR窪川駅側)

※相談を希望される方は、事前に高知西年金事務所へ予約をお願いします。

お問い合わせ先

高知西年金事務所 ☎088-875-1717

町民課 ☎22-3117

大正町民生活課 ☎27-0112

十和町民生活課 ☎28-5112

「人権擁護委員制度」をご存じですか

お知らせ

まずは気軽に「人権擁護委員」へご相談を！

「人権」とは「人が幸せに生活するために必要な権利」です。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、地域住民の皆さんが、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったり、法務局や役場などの公共施設などにおいて、人権問題に関するあらゆる相談をお受けしています。相談は無料で秘密厳守となっていますので、一人で悩まずお気軽に法務局または人権擁護委員にご相談ください。

【身近な人権問題】

- ・家庭や職場内での人権問題
- ・女性、子ども、高齢者をめぐる人権問題
- ・パワーハラスメント
- ・セクシュアル・ハラスメント
- ・ドメスティック・バイオレンス(DV)
- ・いじめ
- ・インターネット上の誹謗中傷 など

これまで町職員として、各保育所や興津町民館での勤務を通し、子どもたちや保護者の皆さまとさまざまな人権課題について考えてまいりました。その経験を生かして、皆さまのご相談に応じていければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。



宮崎淑子さん(令和7年4月より)

【地域の人権擁護委員】(敬称略)

【窪川地域】岡本則子、中津吉弘、吉村和子、宮崎淑子(新任)

【大正地域】芝 たが、吉本江利

【十和地域】伊賀 修、山中弘子

お問い合わせ先 町民課 ☎22-3117

带状疱疹予防接種開始について

お知らせ

厚生労働省では、带状疱疹を予防接種法のB類疾病に位置づけ、令和7年4月1日から带状疱疹ワクチンを定期接種としたため、四万十町でも助成を開始します。

●対象者 四万十町に住所があり、次の①または②のいずれかに該当する方。

①令和7年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上になる方

※100歳以上の方については、令和7年度に限り全員を対象とします。

②令和6年12月31日までに60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能に重い障がいがある方(身体障がい者手帳1級または同程度と診断された方)

※対象者には、個別に予診票を発送しています。

●期 間 令和7年4月1日(火)
～令和8年3月31日(火)
※委託医療機関の休診日を除く

●回 数 【生ワクチンの場合】1回
【組換えワクチンの場合】2回

●費 用 自己負担金
【生ワクチン】3,000円
【組換えワクチン】7,000円(1回につき)
※生活保護受給者は、接種の際、下記問い合わせ先にて発行する「自己負担金免除証明書」が必要です。

●接種場所 県内の委託医療機関

●申込先 県内の委託医療機関



四万十町HP



お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

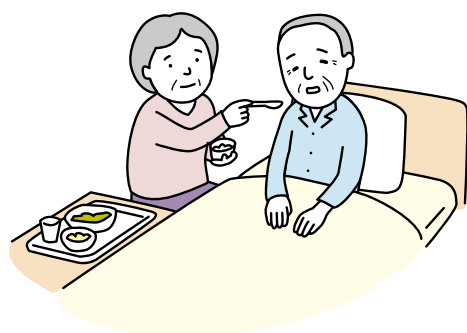
在宅介護手当について

お知らせ

四万十町では、在宅で寝たきりや重度の認知症の方を介護している方の労をねぎらい、在宅福祉を推進するため、在宅介護手当を支給しています。

- 対象者** 四万十町に住所を有する重度の要介護者を、3か月以上在宅で介護している方
「重度の要介護者」とは、要介護2～5で下記の寝たきりや認知症の方が該当になります。
 - ①寝たきりの場合…移動、食事、着替え、入浴および排泄に介護を要する状態の方。
 - ②認知症の場合…被害妄想やひどい物忘れなど、日常生活に支障をきたすような認知機能低下の症状・行動がみられる方。
- ※詳細な基準があるため訪問調査を行い、審査、決定します。
担当ケアマネジャーまたは地域包括支援センター(下記)までご相談ください。

- 支給額** 月額2万円
- 支給回数** 年4回(4月、7月、10月、1月)



申込・お問い合わせ先

四万十町地域包括支援センター ☎22-3385
地域包括支援センター大正支所 ☎27-1212
地域包括支援センター十和支所 ☎28-5518

「海洋堂ホビー館四万十」町民割開始！

お知らせ

4月2日より「海洋堂ホビー館四万十」の入館料を右記のとおり改定しました。

また、新たな割引として四万十町の皆さまにより親しんでいただけるよう、通常料金の半額で入館できる「町民割引」を開始！

お得な町民割引を利用してご来館ください。

- 注意事項** ※改定後は、特別展開催期間と通常期間で料金が異なります。
- ※町民割引は、四万十町内に住民登録がある旨を確認できる身分証などを受付にご提示ください。
- ※町民割引をご利用の場合は、来館者プレゼントは付きません。ご了承ください。

2025/4/2 改定 入館料(税込)	高校生以上大人		小中学生	
	一般料金	町民割引	一般料金	町民割引
特別展開催期間	1200円	600円	600円	300円
通常期間	1000円	500円	500円	250円



申込・お問い合わせ先

海洋堂ホビー館四万十 ☎29-3355

5月は赤十字運動月間です

お知らせ

日本赤十字社高知県支部は「災害からいのちを守る赤十字」として、災害発生時の医療救護活動や救援物資の配布、平常時は防災・減災活動の普及などの人道的活動に取り組んでいます。

これらの活動は、国や県からの公的資金によらず皆さまから寄せられた活動資金によって支えられています。

本年も、赤十字の活動にご理解いただき、赤十字活動資金へのご協力をお願いします。

お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

「家具の転倒防止対策」を補助します

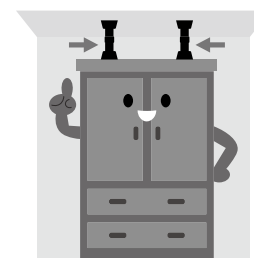
お知らせ

地震発生時、家具の転倒などによる被害を軽減するため、自宅の家具の転倒防止対策や、窓ガラスの飛散防止対策などに対して補助します。

補助内容	補助金額	補助対象
家具転倒防止金具などの購入費	上限 25,000円	家具転倒防止を行う世帯 ※1世帯1回限り

【提出書類】

- ①申請書
- ②見積書
- ③町税完納証明書
- ④県税完納証明書



お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

春のこどもまんなか月間

お知らせ

5月を「春のこどもまんなか月間」と定め、子どもや子育て世代にやさしい社会づくりを推進する取り組みを進めています。

四万十町では、妊娠期から子育て期までのさまざまなお悩みについて、「こども家庭センター『楓』」を開設し、相談体制を強化しています。いつでもお気軽にご相談ください。



四万十町の子育ては、私たちが応援します！



申込・お問い合わせ先

四万十町こども家庭センター「楓」
(健康福祉課内) ☎22-3115

四万十町出会い応援センターてとと

【相談受付】毎週金曜日 10:00～18:00

■要予約/45分 ※夜間・土日希望の場合はご相談ください。

四万十町榊山町3-7 四万十町農村環境改善センター内

☎090-5405-1010 (平日/10:00～18:00)

✉tetoteto@shimanto.tv

【担当】特定非営利活動法人 LIFE:井上義之



出会いをサポート！



てとと
LINE@
友だち
募集中!!



てとと
ホームページ

【登録について】▶対象者/18歳以上独身 ▶必要書類/身分証明書等・独身証明書等(戸籍抄本)・写真1～4枚(証明写真不可)

NEW! 2025 新規採用職員紹介

四万十町

今年度、新たに四万十町職員となったフレッシュな13名をご紹介します。
※食品や医療・福祉に関わる職員は、撮影時のみマスクを外しています。



大好きな町の子どもたちのために!

にしかわ その
西川 苑

見付保育所 調理師

高校生の時から四万十町に住んでおり、人と人とのつながりが家族のようでとても素敵なところだと思っています。大好きな四万十町の子どもたちに元気で健やかな生活を送ってもらえるよう、これまでの経験を生かしていきますのでよろしくお願いします。



何よりも寄り添う心を大切に!

かわかみ しょうや
川上 将矢

農林水産課

新社会人として不安なことも多いですが、たくさん学び、住民の皆さまに寄り添える職員を目指していきます。精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いいたします。



経験を生かし、皆さまの声を行政へ!

にしうち まなみ
西内 愛実

生涯学習課

前職で培った経験を糧に、日々の業務の中で寄せられる「声」に耳を傾け、行政サービスとして反映していけるよう努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



培った知識と技術で、高齢者を支える!

みうら けいた
三浦 啓太

窪川荘 介護福祉士

専門学校を卒業後、高知市内の介護現場で働き、昨年、四万十町へ引っ越ししてきました。今まで培ってきた介護の技術、知識を生かして全力で高齢者の方々と接していきたいです。施設利用者さまに対しても、1分1秒でも長く丁寧な介護ができるよう努めています。



看護師から保健師へ、新たな挑戦!

もり さおり
森 沙織

健康福祉課 保健師

これまでは県内外の病院で看護師として勤めておりました。保健師という新しい職種へのチャレンジは不安もありますが、一つ一つの仕事を大切にしながら、精いっぱい頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



幅広い医療を提供、まずは相談から!

おおくぼ ひでなお
大窪 秀直

大正診療所 所長

これまで病院勤務ばかりだったので診療所で勤務するのは初めてですが、できるだけ多くの方にできるだけ幅広い医療を提供できたらと思っています。精いっぱい頑張りますので、まずはご相談ください。よろしくお願いします。



地元で保育士、笑顔で楽しい保育を!

たなべ まほ
田邊 麻帆

小鳩保育所 保育士

短大を卒業後、地元で保育士をしたいと思っていたので、四万十町で働けることを大変うれしく思います。1日でも早く仕事を覚え、楽しい保育をしていけるよう常に笑顔を忘れず、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



この温かい町で、ご縁を大切に笑顔で貢献!

おはら まさえ
小原 雅江

にぎわい創出課

四万十町民の温かさに惹かれ、この度町職員となりました。一つ一つのご縁を大切にしながら、常に笑顔を忘れず、町民の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



少しでも地域の皆さまの力に!

たになか ひろかず
谷中 寛和

大正診療所 副所長

はじめまして。慣れないことも多いですが、少しでも地域の皆さまのお力になれるよう努めてまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



子どもたちの成長を、食から支える!

たけだ なおこ
武田 奈生子

東又保育所 調理師

地元である四万十町で働けることに、大変うれしい気持ちでいっぱいです。食という観点から、子どもたちの成長を精いっぱいサポートできますよう、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



地域との関りを胸に、日々成長!

しば たける
芝 健成

健康福祉課

地元である四万十町に恩返しができるように精いっぱい頑張る、皆さまに頼りにされる職員になれるよう努力していきたいです。四万十高校で学んだ、地域の方たちとの関わりを忘れずに、日々成長していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



町民に寄り添い、町の発展に貢献!

まつもと ももこ
松本 桃子

総務課

町外出身ですが、これまでの社会人としての経験を生かし、町民の皆さまに寄り添った対応を心掛けます。四万十町の発展に貢献できるよう一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「金婚夫婦記念式典」のご案内

お知らせ

「第68回金婚夫婦記念式典(金婚式)」が高知新聞社、RKC高知放送、高知新聞社会福祉事業団の主催により開催されます。結婚50周年を迎えられるご夫婦は、ぜひお申し込みください。

- 日時 9月1日(月) 13時開場 14時開式
- 場所 四万十会場(新ロイヤルホテル四万十)
- 申込期限 6月6日(金)まで
- 資格 1975(昭和50)年1月1日から同年12月31日に結婚された県内在住のご夫婦
※上記の期間以前にご結婚されたご夫婦でも、初めての申し込みの場合は参加可能。
※これまでに一度お申し込みいただいたご夫婦の、再申し込みはできません。

【高知新聞企業 事業部】



- 申込方法 <<郵送申込>>
申込用紙かお手持ちの便せんに必要事項を記入し、下記提出先へ郵送。
※申込用紙は高齢者支援課の窓口配布、高知新聞企業のホームページからダウンロード可能。
※記載する必要事項は、高知新聞企業のホームページでご確認ください。
- <<WEB申込>>
高知新聞企業のホームページの専用申込フォームに入力。

- 参加者への通知
8月上旬頃にご自宅へ郵送

- 個人情報の取り扱いに関して
応募の際に取得した個人情報は、運営上の管理および本人への連絡の用途に限り使用します。また、円滑な運営のため、四万十町と共同利用します。



申込・お問い合わせ先

(株)高知新聞企業 事業部内「金婚式」係
〒780-8666 高知市本町3-3-39
☎088-825-4328

地域を元気にする！
「健康増進計画委員」募集

募集

第4期四万十町健康増進計画の推進にあたり、関連団体などの幅広い分野の委員とともに、町民の皆さまの意見を反映させるため、「四万十町健康増進計画委員会」の委員(任期2年)を募集します。

- 募集人員 若干名
- 応募条件 委員会に出席可能な町内在住の18歳以上の方で、健康増進計画の検討に関心と意欲のある方
- 応募方法 「人が元気で生き生きしている地域づくり」をテーマに記述した作文(任意様式)に、氏名(ふりがな)、性別、職業、生年月日、住所、連絡先電話番号、略歴、自己PR(自由)を記入し、健康福祉課へ持参または郵送、eメールにて提出
- 応募期限 5月30日(金)17時まで
- 提出先 健康福祉課
〒786-8501 四万十町琴平町16-17
四万十町役場 健康福祉課 健康推進係
Eメール
106010@town.shimanto.lg.jp

お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115

町営住宅入居者募集

募集

募集住宅	団地名	間取り	募集戸数
	金上野団地(公営)	2LDK	1戸
	金上野団地(公営)	3LDK	1戸
	土居団地(公営)	3LDK	1戸
	大井川団地(公営)	3DK	1戸

- 申込期限 5月30日(金)必着
- 必要な書類
入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など
- その他 ①申し込みは、1回の募集において1世帯につき1通に限りです。
②入居資格、申込方法などについては建設課までお問い合わせください。
- 申込書配布場所
建設課、大正・十和両地域振興局、興津出張所

お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

未経験者歓迎！
「国勢調査」調査員募集

募集

今年度、10月1日を基準日として全国一斉に「国勢調査」が実施されます。実施にあたり、四万十町では調査員として協力して下さる方を募集しています。

- 主な仕事内容
 - 調査員向け説明会への出席
 - 担当する調査区内の世帯を訪問し、協力依頼や調査書類の配布など
 - 調査書類の回収および点検・整理後に町に提出
- 業務期間(任命期間)
8月上旬～11月上旬の約3か月間
- 申込方法 お電話で下記までお申し込みください。



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

主役は私たち！
「二十歳の集い」実行委員募集

募集

令和8年1月2日に窪川四万十会館で開催される「二十歳の集い」の実行委員会委員を募集しています。一生に一度の二十歳の集いを自分たちの手で盛り上げてみませんか！

- 活動内容 「二十歳の集い」の企画・実施
- 募集人数 6名程度
- 応募期限 6月30日(月)



お問い合わせ先 生涯学習課 ☎22-3576

すくすく

はやし きょう
林 杏さん
令和5年8月24日生まれ

大きくなあれ！

(楓子より)

3歳頃までのお子さまを募集しています！応募はこちらから →

【お問い合わせ先】
企画課 ☎22-3124

窪川高校・四万十高校 令和6年度進路合格先一覧

今回は「四万十町人材育成推進センター」から、両校の令和6年度の進路合格先についてお知らせします。(複数合格者あり)

窪川高校			四万十高校		
		人数			人数
国公立大学	高知工科大 システム工	1	国公立大学	筑波大学 生命環境学群	1
	高知工科大 情報	1		岡山大学 工	1
	高知工科大 経済・マネジメント	1		愛媛大学 理	1
	高知県立大学 文化	2	私立大学	高知学園大学 健康科学	1
	高知大学 人文社会科学	1		桜美林大学 教育探究科学群	1
私立大学	同志社大学 グローバル地域文化	1		共立女子大学 文芸	1
	立命館大学 文学部地域研究学域	1		東京家政学院大学 生活共創	1
	立命館大学 国際関係	1		京都産業大学 経済	1
	近畿大学 国際	2		近畿大学 産業理工	1
	京都産業大学 国際関係	1		阪南大学 経営	1
	大阪経済大学 人間科学	1		徳島文理大学 人間生活	1
	松山大学 人文	2		四国大学 文	1
	松山大学 経済	1		人間環境大学 総合心理	1
	松山大学 法	1		西日本工業大学 工	1
	名古屋経済大学 経営	1	専修・各種学校	龍馬看護ふくし専門学校	1
	人間環境大学 総合心理	1		子ども未来	1
	大阪人間科学大学 心理	2		龍馬デザイン・ビューティ専門学校	1
	松山東雲女子大学 人文科学	1		美容総合	1
	四国学院大学 社会	3		京都芸術デザイン専門学校	1
	四国学院大学 社会福祉	1		ビジュアルデザイン	1
専修・各種学校	高知職業能力開発短期大学校	1		KADOKAWA マンガアカデミー大阪校	1
	電子情報技術	1		マンガ専攻	1
	高知県立高知高等技術学校	2		OCA 大阪デザイン&テクノロジー専門	1
	高知県立農業大学校 園芸	2		学校 コミックイラストマスター専攻	1
	高知県立幡多看護専門学校 看護	1		大原簿記公務員専門学校愛媛校 公務	1
	龍馬情報ビジネス & フード専門学校	1		員専攻科	1
	情報システム	1		河原アイペットワールド専門学校	1
	龍馬情報ビジネス & フード専門学校	1		ペット総合	1
	セールスマネジメント・ブライダル	1	就職	国家公務員(事務四国)	1
	龍馬情報ビジネス & フード専門学校	1		四万十市役所	1
	会計ビジネス	1		四万十町役場	2
	平成福祉専門学校 介護福祉	1		日本郵便株式会社 四国支社	1
	神戸元町こども専門学校	1		愛媛県庁	1
就職	こども総合	1	(複数合格者あり)		
	河原デザイン・アート専門学校 グラ	2			
	フィックデザイン	2			
	日本郵便株式会社 四国支社	1			
	公益財団法人四万十公社	1			
就職	ヤンマーアグリジャパン株式会社中四	1			
	国支社	1			
	株式会社平安	1			
就職	四万十清流消防署	1			
		1			

知っていることは全部伝えたい

大正中学校と四万十高校、2校の音楽部でつくるジャズバンド「FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA」。コンクールや町内のイベントなどで軽やかなサウンドを響かせ、地域に元気を届けている。

10年前の創立期から指導する山地高さんは、「始めたばかりの生徒も数か月で本格的なスタイルで演奏できる。もうあつという間、すごいと思います。僕も見習いたい」と笑う。サクソ奏者としてのキャリアは約40年。「僕の知っていることは全部伝えたい」と生徒たちに向き合う。

檜生原地区出身。戦後に代用教員として音楽を教えていた父親の影響で、小さい頃から音楽が身近にあった。中学・高校の吹奏楽部ではトランペットやクラリネットを担当。卒業後、働きながら高知市の社会人ビッグバンドに参加し、サクソに転向した。プロになりたい思いもあったという。

憧れは世界的なサクソ奏者、マイケル・ブレッカー。しかし、ここで高い壁に直面する。「彼の真似をしようとしても、音が出ないんです。テクニックがどうこうというより、そ

もそも彼のような音が出ない。そこでプロを諦めたというか、全く違う世界だなと」。

20代前半、線路工事の職を得て東京へ。その頃は音楽から少し離れていたが、ライブハウスでプロ奏者の佐藤達哉さんの演奏を聞き、再び情熱に火がついた。佐藤さんの自宅でレッスンを受け、自分の音を追求した。「やっぱり、目の前で出してくれる生の音を聴くのが一番勉強になった」と振り返る。

30歳手前で帰郷し、家業の農業や仕出し業で生計を立てつつ、演奏活動が続けてきた。そして、「フェアリーピッタ」の外部指導員として声がかかった。

練習では基礎的な音づくりを大切に、生徒の横で一緒に演奏しながら教える。「しっかり音を伸ばしてハーモニーをつくる。そういう基礎的な練習は面倒で、つらいこともある。それをみんなで乗り越えてほしい」。調和があり、即興がある。ジャズがつかない道を行く。

山地 高さん
(サクソ奏者)



町にはこんな waza も

姉妹でストリートダンス！ 國澤 莉緒さん(写真右)大正中学校3年、杏菜さん 大正中学校1年

莉緒さんは5歳から、杏菜さんは6歳からSOULCREAMダンススタジオの窪川教室に通う。「楽しんで踊って、見た人にも喜んでもらえた時がすごくうれしい」。表現力や動きのきれいさをお互いに学び合う。2人そろってのポーズもスタイリッシュだ。

ちょい waza!!

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちょいwaza!!は随時募集中!▶



今年度も多くの生徒が目標に向かって努力を重ね、希望する進路を実現しました。令和6年度は、本校キャリア支援部と「町営塾じゆうく。」が連携し、共通の方針のもとで、生徒一人一人の可能性を引き出す進路指導に取り組むことができました。

進路実現のため、
高校生活で
取り組んだことを
生徒に聞いてみました。

(アンケート結果より)

- 積極的にイベントや行事ごとに参加し、さまざまな経験を得た
- 入試方法で英語が重視されるのもあり、受験勉強も兼ねて英検の勉強にも力を入れました
- ボランティア活動、じゆうく。
- 授業に真剣に取り組んだ。また、希望の進学先に合格できるよう、勉強や面接練習に励んだ
- 陸上と公務員試験の勉強との両立を頑張った。その結果、進路を実現することができた
- 積極的に自分の興味のある分野のボランティアに参加し、好きな分野について調べた

お問い合わせ先 四万十町人材育成推進センター ☎22-3163

このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町営塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介しています。



川沿いあり。谷間あり。
これぞ四万十川中流域!!

井崎 ②

広大な地区ゆえの苦勞多し!

前号から続く。昭和31(1956)年沈下橋ができ、その3年後、井崎小学校が対岸の広瀬に移転するかたちで広井小学校が開校された。このスケジュールは、小学生の通学への配慮だったのだろうか。沈下橋ができる前は、多くの地区がそうであったように、水量が多い夏場は渡し舟、水量が減る冬場は引き舟で行き来した。当時の小学生たちは井崎小学校があったので四万十川を渡らずに済んだが、中学生は広瀬へ渡って十川まで行かねばならなかった。川を渡る面倒だけでなく道のりも長い。今のような舗装された道ではない。「藁草履は、川に近い家の子でも3日ともたなかった。井崎谷や相後のような奥深い地域や最西端の柳瀬からだ、距離も長く険しくて3日どころではなかった」という。自転車の時代になっても、砂利道ゆえの苦勞は続いた。

町境に展開する集落と四万十川沿いの集落と

井崎谷は1940年代までは大井川村であったと前号で書いた。相後川に沿って奥へ深い相後集落も、昔は東の山越えでつながっている大井川との交流が盛んだった。また南の山を越えた西土佐の藤の川とも交流があったようだ。柳瀬は西土佐の半家との行き来が多かったという。

さて、谷間の地区から一転、四万十川沿いに保喜という集落がある。道の駅とおわの西から広瀬に入っていくと、四万十川の対岸に最初に見える南向きの集落で、背後の山の迫り具合が特徴的である。山の裾野と河岸との間にあるわずかな空間

に民家と田畑が展開している。背後の山はとても急峻で、その斜面には先人が苦勞して切り拓いた茶畑などが駆け上るように張り付き、一日中太陽の光を受けている。

ウバ池の名の由来

八坂神社と河内神社のすぐ前に「井崎農村公園」という広々とした公園がある。ここは、元々は竹藪に覆われた低地であったが、水害対策のために埋め立てられて公園となった。以前、この竹藪には四つの池があり、地元の子どもたちがよくウナギやフナを釣りに来ていた。池は上から順に「小池」「大池」「中池」「ウバ池」と名付けられていた。小、大、中はその名の通りだったが、ではウバ池とは?「あるお婆さんがこの池でよく釣りをしていたことからそう呼ばれるようになったと、むかし、子どもの頃に聞いたことがある」と、むかし子どもだった地区の方が教えてくれた。



昔は竹藪だったという井崎農村公園

町のうごき

(3月31日)	人	口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,113	-53		男 0	17	38	74
女	7,649	-56		女 2	15	26	69
計	14,762	-109		計 2	32	64	143
世帯数	7,904	-20		(3月中の届出)			

窪川地域 10,527人 大正地域 2,035人 十和地域 2,200人